

鴨川版CCRCの取組み案について

検討のたたき台

2016年11月11日

アンケート結果から見た取組みの方向性

- 鴨川の強みや資源と、1都3県の中高齢層の移住ニーズを突き合わせてみた結果として、鴨川版CCRCにおいて取組むべき活動とは何か？

<鴨川への期待>

- ✓ 鴨川版CCRCに期待する機能は「医療、介護」、「介護予防・健康づくり等のサポートのもと、高齢になっても安心して暮らせること」、「豊かな自然などの環境に恵まれていること」

<鴨川での移住者の強みの認識>

- ✓ 鴨川移住へのニーズは、リゾート・娯楽、海辺、緑の豊かさ、温暖な気候、安価な住宅
- ✓ 鴨川の強みは温暖な気候、風光明媚・海辺・緑豊かな自然環境、食
+「医療介護」?

- 温暖な気候や海や山の自然資源・食を活用する
- すまいを見つける／紹介する
- 医療介護の安心を提供する ほか

<鴨川への懸念>

- ✓ 阻害要因は買い物、公共交通の不便さ、知り合い不在、自然災害の危険性、仕事やすまいの見つからなさ
- ✓ ライバルは南関東・甲信・東海・沖縄、都心アクセスや自然災害の少なさ、仕事の得やすさ

<鴨川での移住者の活動意向>

- ✓ コミュニティには必要な範囲で参加したい
- ✓ 6割程度は何らかの**就労**を希望

- 買い物や移動の不便を解消する
- 仕事を見つける／紹介する
- 地域コミュニティづくり ほか

アンケート結果から見た取組みの方向性

- ✓ 鴨川の資源を活かした移住促進による地域課題解決と移住促進とあわせた鴨川市民の生活の質の向上に向けた取組みを図るために必要な取組みとその実現に向けた課題とは？

○沿岸部等の都市機能・観光資源の集積を活かした高齢者活躍環境強化モデル

移住者及び市内の住み替えも想定し、新築/空き家の活用ですまいや交流拠点を確保、観光等の就労や地域づくりへの参加などの活躍の場・体制を充実させる。

- ✓ 温暖な海辺のリゾートへのニーズが存在
 - ✓ 買い物、公共交通の不便さ、知り合い不在、自然災害の危険性の緩和・解消、仕事や安価なすまいを提供するサービスが必要
 - ✓ 便利な街なかでスキルを活用した就労・趣味のあったコミュニティを形成する方向性はある
- ⇒海の眺望・マリンスポーツ等を志向する層へのすまいと活動体制の戦略検討へ

○山間部における多世代共生コミュニティモデル

既存コミュニティを尊重しつつ、高齢者の生活支援と農業・観光・地域活動の担い手ともなる若年層の多世代共生を目指し、空き家等を積極的に活用、アクティビティ、活躍の場としていく。

- ✓ 鴨川への移住の要因として自然環境・緑の豊かさへの期待は高く、自然に関連した就労への希望が存在
 - ✓ 鴨川版CCRCには、安価なすまいへの期待が高い
- ⇒自然派志向層の期待に応えるすまい・アクティビティとそのマッチング体制の検討へ

鴨川版CCRC

○医療福祉サービス充実強化モデル

充実した医療福祉関連産業を活かし、健康かつ安心な住環境を確保するとともに、これらのサービスの担い手となる人材育成にも役立てる。

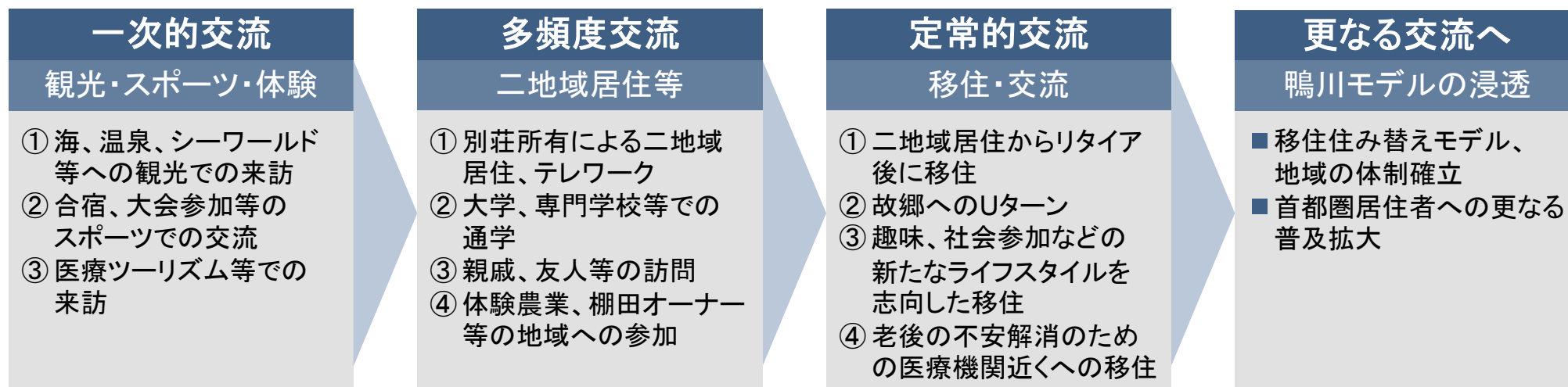
- ✓ 鴨川版CCRCの第一の期待である医療介護は、鴨川の強みとしての認知度は低い
 - ✓ 移住先での就労による収入を生活費に充当したいとの希望も多く、医療介護の人材育成、就労の可能性がありうる
- ⇒医療の強みを活かした安心・健康を確保できる拠点整備と地域の基盤となる医療介護健康増進サービスの提供、就労・人材育成モデルの検討へ

展開イメージ

- 観光やスポーツ、医療といった鴨川市の資源に惹かれて短期訪問した人々に対する積極的な働きかけを通じて、一度きりの来訪ではなく、二地域居住さらには定住へとつながるファンづくり
 - ☞例えば、お試し居住プログラムや棚田オーナーなどへの招待で二地域居住や通学者の増加へ
- アクティブシニア／子育て層等の移住者が観光や農業、医療福祉等の担い手となり、生涯活躍、地域のまちづくりに貢献できるような体制づくり、プログラムの整備を通じて、移住者の増加・地域の生活環境の向上を順次拡大
 - ☞例えば、住み替え・就労支援体制の構築

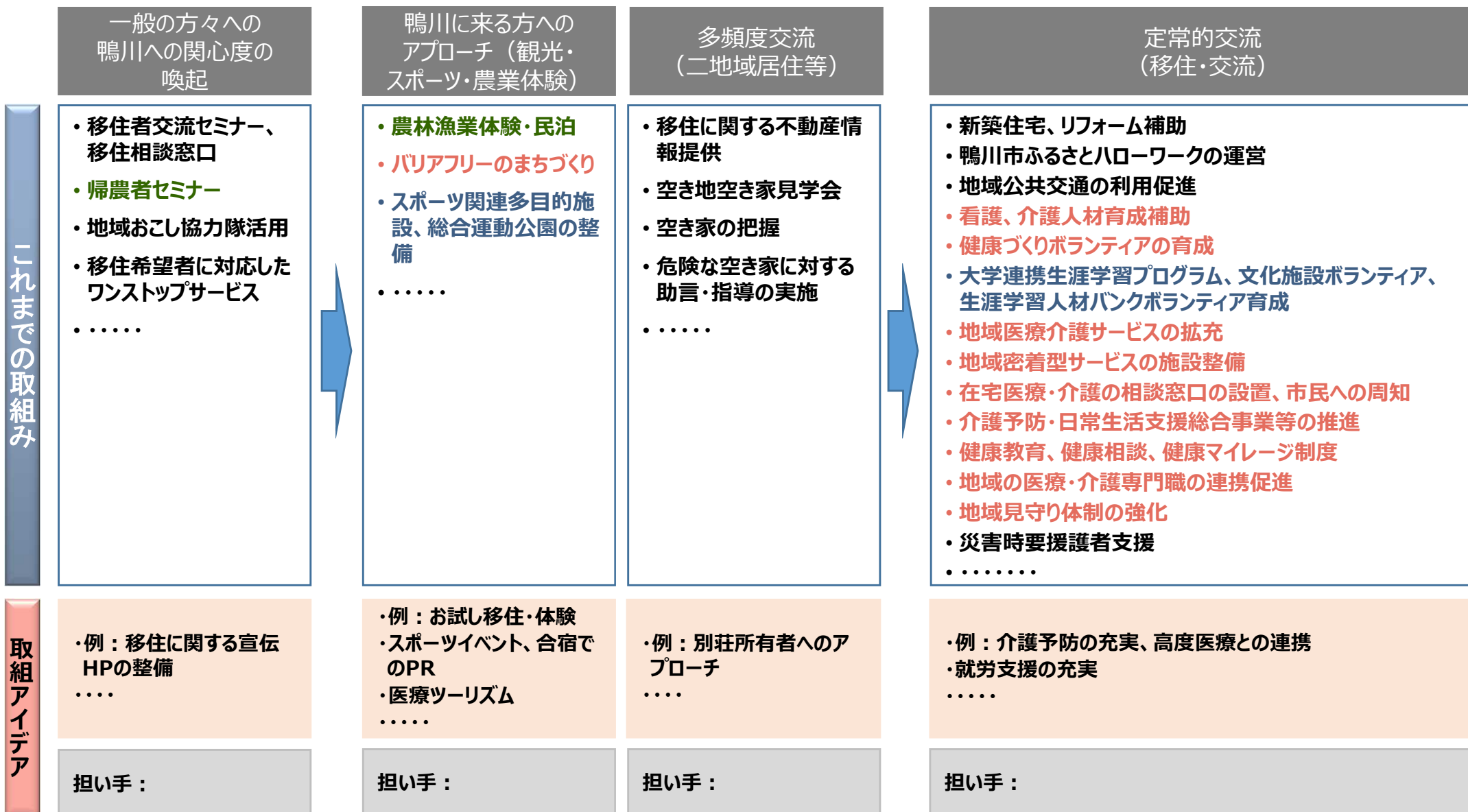
段階的な移住交流の深度化

普及拡大



段階的な移住交流を見据えた取組み

段階的な移住交流の深度化



取組アイデア